

土木費

土木総務事務費

548 万円
(前年度: 683万円)

(担当: 建設課 事業調整係)

土木業務全般に必要な事務を行います。

- ・道路賠償責任保険料 30万円
- ・土木補助員委託料 147万円
- ・設計積算システム関係使用料等 56万円
- ・各種協議会等負担金 116万円
- ・共同利用型設計積算システム負担金 161万円

財源

市の負担額

548万円

道路橋梁事務費

457 万円
(前年度: 458万円)

(担当: 建設課 道路河川係)

新たに市道として認定した道路や、市道の拡幅、歩道整備などの改良を行った路線について、道路台帳の整備を行います。

- ・道路台帳新規認定路線作成及び修正、路線図のデジタル化

財源

市の負担額

457万円

道路補修費

3,180 万円
(前年度: 3,407万円)

(担当: 建設課 道路河川係)

道路及び道路側溝等の修繕、街路樹の剪定や除草など、道路の維持管理を行います。

- (主な維持管理の内容)
- ・市道滑川中央線排水ポンプオイル交換、分解整備
 - ・街路樹管理業務委託
 - ・市道本江栗山線等除草業務委託
 - ・路面補修及び防護柵補修
 - ・道路工作物補修
 - ・路面補修材の購入



舗装補修状況

財源

その他(道路占用料)

1,620万円

市の負担額

1,560万円

街灯維持費

1,930 万円
(前年度: 1,920万円)

(担当: 建設課 道路河川係)

市が管理する街灯(電球、ポール、点滅器等)の維持管理を行います。

- ・電気料 1,590万円
- ・街灯修繕料 340万円

財源

市の負担額

1,930万円

除雪対策事業費 2,542 万円

(前年度: 2,591万円)

(担当: 建設課 事業調整係)

除雪計画に基づき、市道の除雪や低温時には道路に凍結防止剤の散布などを行います。

- ・ 除雪作業委託料 1,600万円
- ・ 除雪車用装備品等 150万円
- ・ 燃料費 70万円
- ・ 除雪車両整備点検費 100万円
- ・ 除雪車両修繕費 224万円
- ・ 凍結防止剤 100万円



財源

市の負担額

2,542万円

消雪施設維持費 1,269 万円

(前年度: 1,269万円)

(担当: 建設課 道路河川係)

消雪施設の点検・清掃など施設の維持管理を行います。

- ・ 消雪施設電気料 640万円
- ・ 消雪施設点検清掃及び点検調整委託 79万円
- ・ 県消雪施設の市負担



財源

その他(地元等負担金)

54万円

市の負担額

1,215万円

消雪施設整備事業費 360 万円

(前年度: 270万円)

(担当: 建設課 道路河川係)

消雪施設のパイプの高圧洗浄やノズル・ドレン交換、揚水ポンプの取替工事等を行います。

(主な維持管理内容)

- ・ 消雪ポンプ取替工事
- ・ 消雪パイプ高圧洗浄業務委託
- ・ 消雪ノズル等交換



財源

市の負担額

360万円

地域ぐるみ除雪機械導入助成費 100 万円

(前年度: 300万円)

(担当: 建設課 事業調整係)

除排雪組合(町内会)に対する小型除雪機械等の購入費用を助成します。

- ・ 小型除雪機購入費用補助



財源

市の負担額

100万円

土木費

道の駅管理運営費

125 万円
(前年度:125万円)

(担当: 建設課 事業調整係)

道の駅(ウェーブパークなめりかわ)のトイレ等の付帯施設の維持管理を行います。

・道の駅清掃業務委託料	67万円
・道の駅管理委託料	24万円
・道の駅消耗品	9万円
・道の駅施設修繕料	12万円

財源

市の負担額

125万円

薬草植栽ロード事業費

40 万円
(前年度:40万円)

(担当: 建設課 道路河川係)

「薬のまち滑川」をアピールするため、街路樹の植樹桟に薬草を植栽します。

- ・下島柳原線薬草植樹工事
欠損箇所



財源

市の負担額

40万円

滑川富山線等舗装改良費

500 万円
(前年度:500万円)

(担当: 建設課 道路河川係)

路面性状調査に基づき、滑川富山線等の舗装修繕を行います。

- ・滑川富山線舗装修繕工事



財源

国県支出金

250万円

借入金

220万円

市の負担額

30万円

道路付属施設改良費

200 万円
(前年度:200万円)

(担当: 建設課 道路河川係)

道路付属施設(街灯・標識)の点検結果に基づき、修繕を行います。

- ・滑川中央線外道路付属施設(街灯・標識)修繕工事



財源

国県支出金

100万円

借入金

90万円

市の負担額

10万円

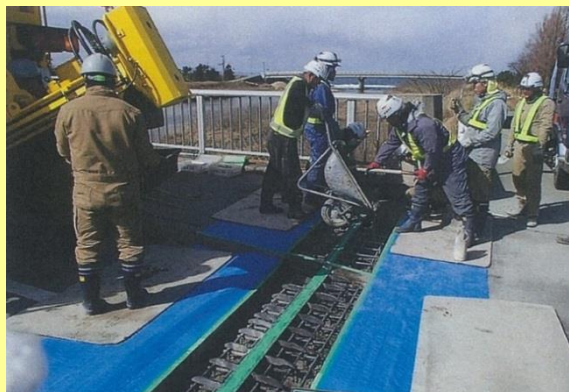
橋梁長寿命化事業費 2,000 万円

(前年度:4,300万円)

(担当: 建設課 道路河川係)

計画的な修繕の実施により、橋梁の長寿命化と維持管理費の削減を図り、効率的な維持管理を行います。

- ・ 橋梁補修工事



財源

国県支出金	1,100万円
借入金	810万円
市の負担額	90万円

【新】橋梁点検調査費 1,000 万円

(前年度:一万円)

(担当: 建設課 道路河川係)

橋梁について、定期点検を行うことで、損傷状態の把握、危険性の有無を確認し、計画的な修繕の実施に役立てます。

- ・ 橋梁定期点検

財源

国県支出金	550万円
借入金	400万円
市の負担額	50万円

高月加島町線等消雪施設整備費 1,000 万円

(前年度: 1,000万円)

(担当: 建設課 道路河川係)

設置から30年以上経過し、老朽化により機能が低下している消雪施設の更新を行います。

- ・ 消雪施設リフレッシュ工事 外



財源

国県支出金	600万円
借入金	360万円
市の負担額	40万円

交通安全施設整備費 830 万円

(前年度:1,930万円)

(担当: 建設課 道路河川係、生活環境課 生活安全係)

交通安全施設(道路標識、カーブミラー、道路区画線等)をはじめ街灯の新設工事や転落防止用の防護柵設置工事を行います。また、町内会が設置した街灯に対して、補助金を交付します。

(建設課分)

・ 街灯設置費	90万円
・ 転落防止柵設置工事	55万円
・ 横断防止柵取替工事	55万円
・ 街灯設置費補助	70万円

(生活環境課分)

- ・ 経年劣化により、本来の機能が果たせなくなった警戒標識やカーブミラーを修繕します。
60万円
- ・ 警戒標識やカーブミラーを新たに設置します。
- ・ 道路区画線(道路の外側線・中央線等)の白線引きをします。

500万円

財源

市の負担額	830万円
-------	-------

土木費

【新】道路改良費

1億5,000 万円
(前年度:2億7,000万円)

(担当: 建設課 道路河川係)

町内会等からの要望や改良が必要な道路の整備を行います。

- ・下梅沢上島線の道路改良工事
(沖田新外地内) など



整備前
(大窪四ツ屋線の事例)



整備後

財源

借入金(辺地債)	700万円
市の負担額	1億4,300万円

県道舗装改良負担金

500 万円
(前年度:500万円)

(担当: 建設課 事業調整係)

県において実施している道路改良・道路舗装・雪寒対策施設整備事業に必要な経費について、市が一部負担しています。

財源

市の負担額	500万円
-------	-------

中野島坪川線道路改良事業費 2,000 万円

(前年度:2,000万円)

(担当: 建設課 道路河川係)

歩行者と通行車両の安全確保を図るため、踏切整備に合わせて道路の拡幅を行います。

- ・踏切改良、用地買収及び道路改良工事



財源

国県支出金	1,100万円
借入金	810万円
市の負担額	90万円

有金上島線道路改良事業費 2,000 万円

(前年度: 2,000万円)

(担当: 建設課 道路河川係)

歩行者と通行車両の安全確保を図るため、歩道の整備を行います。

- ・実施設計、用地買収



財源

国県支出金	1,100万円
借入金	810万円
市の負担額	90万円

河川管理費

273 万円

(前年度:273万円)

(担当: 建設課 道路河川係)

河川の除草や川底に溜まった泥を取り除く作業を行います。また、電動水門の電気料等の支出や水門の操作を委託しています。

- ・電気料
(主な維持管理業務内容)
- ・除草、浚渫業務委託
- ・水門、用水等管理委託

財源

市の負担額

273万円

駅前広場管理費

561 万円

(前年度:555万円)

(担当: まちづくり課 まちづくり係)

滑川駅前や駅南広場などに設置されている施設の維持管理を行います。

- ・駅前広場管理費
滑川駅前・駅南広場 電気料及び水道料
滑川駅南広場・西滑川駅公衆トイレ 水道料
広場施設(舗装タイル等) 修繕料
消雪用パイプ点検調整業務
電気設備点検業務
滑川駅地下道エレベータ管理点検業務
滑川駅地下道警備監視業務及び清掃業務
公衆トイレ清掃業務

※あいの風とやま鉄道が、消雪用パイプの保守点検料及び電気料について一部を負担しています(16万円)。

財源

その他(消雪装置負担金)

16万円

市の負担額

545万円

中滑川駅前再開発事業費

24 万円

(前年度:310万円)

(担当: まちづくり課 まちづくり係)

中滑川駅周辺地区に防災拠点施設や賑わいを創出する施設を整備します。

- ・国土交通省等との打ち合せ費用等

財源

市の負担額

24万円

地籍調査費

480 万円

(前年度:461万円)

(担当: まちづくり課 まちづくり係)

一筆ごとの土地の調査及び境界の確定を行い、その結果をまとめた地籍簿を作成します。地籍簿の確認(閲覧)後、法務局へ成果を送付します。

- ・地籍調査業務
(国庫負担金1/2、県負担金1/4)

地籍調査とは？

一筆ごとの土地の所有者、地番、地目を調査し、境界の位置と面積を測量します。その成果を法務局に送り、これまでの登記簿や地図が更新されることで、その後の土地取引の円滑化や行政の効率化に役立ちます。

財源

国県支出金

352万円

市の負担額

128万円

土木費

都市計画事務費

314 万円
(前年度:342万円)

(担当: まちづくり課 まちづくり係)

都市計画審議会等の開催に必要な事務経費です。禁止されている広告物を掲示していないかを確認するための巡回パトロールなども実施します。

- ・都市計画審議会等開催経費 9万円
- ・屋外広告物禁止物件巡回パトロール 27万円
- ・各種リース料(庁用車等) 52万円
- ・共同利用型設計積算システム負担金 161万円

財源

市の負担額

314万円

【一部新】行田公園整備事業費 607 万円

(前年度:3,250万円)

(担当: 公園緑地課 公園緑地係)

行田公園と児童館の一体的な運用に際し、広場内にトイレを設置します。

- 【新】アウトドア広場トイレ設置工事
トイレ設備、給排水、電気設備工事など



財源

市の負担額

607万円

東福寺野自然公園管理費

974 万円
(前年度:866万円)

(担当: 公園緑地課 公園緑地係)

東福寺野自然公園の維持管理を行います。

- ・指定管理料(文化・スポーツ振興財団) 683万円
- ・パークゴルフ場の芝生維持費
イノシシ侵入防止柵等の整備、芝生の防除作業、芝生の維持管理作業など



財源

市の負担額

974万円

公園管理費

8,892 万円
(前年度:8,703万円)

(担当: 公園緑地課 公園緑地係)

市内各公園施設などの維持管理を行います。

- ・維持管理費用 571万円
消耗品代、燃料代、電気水道代
公園施設や遊具の修繕代など
- ・トイレ汲取り代、浄化槽点検代 10万円
切手代、木くず処分代等
- ・都市公園等の維持管理 4,268万円
指定管理費及び各公園維持管理費等
行田公園花菖蒲株分け業務委託
- ・庁用車リース代など 24万円
- ・遊具等更新工事など 4,000万円
- ・公園用資材費(砂、碎石など) 15万円
- ・各協会会費 4万円

財源

国庫支出金

2,000万円

借入金

1,800万円

その他(施設使用料等)

70万円

市の負担額

5,022万円

市街地空地空き家活用支援事業費 150 万円 (前年度:200万円)

(担当: 商工水産課 商工労政係)

市街地の活性化を図るため、市街地における空き地空き家を有効活用し事業を始める事業者に助成します。

・市街地空地空き家活用支援事業補助金

150万円

市街地において空き地空き家を活用して飲食店、小売業を創業した事業者に対し、土地・建物の取得・改装費や賃貸料を助成します。



財源

市の負担額

150万円

まちなか居住推進事業費 800 万円 (前年度:600万円)

(担当: まちづくり課 まちづくり係)

定住人口の増加を図り、魅力ある活気に満ちたまちづくりを推進するため、まちなか(=人口集中地区)区域以外に居住する方が、まちなかにおいて住宅を取得される場合に補助金を交付します。

・まちなか居住推進事業費 600万円

補助率 金融機関等からの借入額の3/100
限度額50万円

※主な交付要件

- ◎住戸専用面積 75㎡以上
- ◎3年以上継続して居住される方
- ◎親族2人以上の世帯の入居

財源

市の負担額

800万円

民間宅地開発事業補助金 1,000 万円 (前年度:2,200万円)

(担当: まちづくり課 まちづくり係)

一定規模の宅地開発事業を行う際に、道路舗装や側溝整備等の公共施設整備に対して補助金を交付します。

・公共施設整備に関する補助金単価

- ・舗装 4,500円/㎡
- ・公園等の整備 1,900円/㎡
- ・植栽 14,500円/㎡
- ・道路側溝整備 16,100円/m
- ・防火水槽 200万円/基

財源

市の負担額

1,000万円

市街地活性化推進費 9 万円 (前年度:9万円)

(担当: まちづくり課 まちづくり係)

市街地活性化推進協議会を開催し、旧町部の活性化対策を行います。

・市街地活性化推進協議会開催費用 8万円

・その他事務用品など 1万円

財源

市の負担額

9万円

土木費

空き家対策推進事業

920 万円
(前年度:920万円)

(担当: まちづくり課 空家対策係)

老朽化した危険な空き家について、解体除却の推進及び支援をすることで、市民の安全と安心を確保します。さらに、空き家等の適切な管理及び活用の促進を図るための対策や所有者への助言など、必要に応じて緊急安全措置工事等を実施します。

- ・ 空家等対策協議会開催費等 18万円
- ・ 危険老朽空き家の解体工事 1戸 200万円
- ・ 特別措置法第14条に基づく空家解体工事 300万円
- ・ 測量業務等 2戸 80万円
- ・ 条例8条に基づく緊急安全措置 50万円
- ・ 危険な空き家の除却支援 5戸 250万円

財源

国県支出金	265万円
その他(回収費用)	50万円
市の負担額	605万円

【一部新】緑化推進費

386 万円
(前年度:383万円)

(担当: 公園緑地課 公園緑地係)

市内の緑化推進を図るために、各施設や花壇に花苗等の植栽を行います。

- ・ 花苗代 169万円
(各地区へ花苗配布や花壇の花苗植栽等)
- ・ フラワーポット等の維持管理費 46万円
- ・ 地域の緑づくり推進事業 90万円
- ・ 球根及び花壇の材料代 49万円
(各小学校へチューリップ球根配布等)
- ・ 花と緑の緑化推進事業補助金 20万円
- 【新】ガーデニング指導者における花壇整備と富川桜種苗採取 12万円



財源

国県支出金	148万円
市の負担額	238万円

ほたるいかプロムナード管理費

171 万円
(前年度:172万円)

(担当: 公園緑地課 公園緑地係)

ほたるいかプロムナードの中央分離帯の植栽活動やポケットパークの維持管理を行います。

- ・ 花苗及び肥料代 42万円
- ・ ポケットパーク電気料 36万円
- ・ 中央分離帯及びポケットパーク維持管理費 93万円



財源

市の負担額	171万円
-------	-------

21世紀桜のまち推進事業費

50 万円
(前年度:50万円)

(担当: 公園緑地課 公園緑地係)

公共施設又は民有地において桜の植栽を行い、桜の花のまちづくりを目指します。
(目標21,000本)

- ・ 21世紀桜のまち推進事業 50万円
町内会や会社敷地に植栽する場合、無料で苗木を配布します。



財源

市の負担額	50 万円
-------	-------

下水道事業会計繰出金 5億7,993 万円
(前年度:5億9,241万円)

(担当: 上下水道課 下水道総務係)

下水道事業会計において、使用料、受益者負担金(分担金)、国交付金、借入金などの収入で賄いきれない経費に充当するため、市の一般会計が資金の負担、補助及び出資を行います。

- ・ 公共、特定環境保全公共下水道事業に対する負担金及び補助金 5億3,386 万円
(収益的支出の減価償却費や企業債利息等に充当します。)
- ・ 公共、特定環境保全公共下水道事業に対する出資金 4,607 万円
(資本的支出の企業債元金償還金に充当します。)

財源

市の負担額 5億7,993万円

【一部新】市営住宅維持管理費 1,670 万円
(前年度:1,525万円)

(担当: まちづくり課 建築住宅係)

市営住宅(荒俣住宅、シーサイドタウン有磯、浜町住宅、サンコーポラス上小泉2・3号棟)の維持管理を行います。

(主な経費内訳)

- ・ 住宅明け渡しに伴う修繕、クリーニング
- ・ 住宅修繕費用
- ・ 住宅敷地内除草業務
- ・ 受水槽清掃業務
受水槽の掃除を行い、衛生的な水質の維持管理に努めています。
- ・ 消防設備保守点検料
避難器具、消火器等の点検を行い、火災等の緊急時に備えています。
- ・ 荒俣住宅自動火災報知設備更新工事
- ・ シャワー設置工事
- ・ 共用部分電気料、水道料
- ・ 火災保険料
- ・ 【新】荒俣住宅集会所改修費用
(住宅の1室を集会所へ用途変更)

財源

その他(市営住宅使用料) 75万円
その他(公営住宅火災共済機構補助金等) 8万円
市の負担額 1,587万円

【一部新】定住促進住宅維持管理費 2,711 万円
(前年度:1,816万円)

(担当: まちづくり課 建築住宅係)

定住促進住宅(吾妻、北野、サンコーポラス上小泉1・4号棟)の維持管理を行います。

(主な経費内訳)

- ・ 住宅明け渡しに伴う修繕、クリーニング
- ・ 住宅修繕費用
- ・ 住宅敷地内除草業務
- ・ 受水槽清掃業務
受水槽の掃除を行い、衛生的な水質の維持管理に努めています。
- ・ 消防設備保守点検料
避難器具、消火器等の点検を行い、火災等の緊急時に備えています。
- ・ 遊具保守点検業務
敷地内の遊具の安全確認を行っています。
- ・ シャワー設置工事
- ・ 共用部分電気料、水道料
- ・ 火災保険料
- ・ 【新】サンコーポラス吾妻1号棟解体後駐車場整備工事

財源

その他(定住促進住宅使用料・共益費)1,189万円
その他(公営住宅火災共済機構補助金等) 22万円
市の負担額 1,500万円

雇用促進住宅購入費 1,583 万円
(前年度:1,603万円)

(担当: まちづくり課 建築住宅係)

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構から雇用促進住宅3宿舎(上小泉・吾妻・北野)を購入し、平成26年4月1日から市で管理しています。

その3宿舎の購入費を9回に分けて支払っています。令和2年度は7回目の支払いです。

- ・ 雇用促進住宅購入費の支払 7回目

《購入費》

サンコーポラス上小泉 3,978万円
サンコーポラス吾妻 6,802万円
サンコーポラス北野 6,364万円
合計 17,144万円

財源

その他(定住促進住宅使用料) 1,583万円

土木費

木造住宅耐震改修支援事業費 200 万円
(前年度:200万円)

(担当: まちづくり課 建築住宅係)
昭和56年5月31日以前に着工した木造一戸建住宅(2階建て以下)の耐震改修工事費用の一部を補助します。
補助金は、耐震改修に要する費用の5分の4(限度額100万円)です。

- ・木造住宅耐震改修支援事業
200万円(100万円×2戸)

財源

国県支出金	150万円
市の負担額	50万円

